

外科総1：救急医療の基礎（内科系疾患）《総IX-10》、基本的な救急処置《必10-B》

日時：7月12日（金） 2時限

担当者：根本 学（国セ 救急医学科）

内容：

1. 救急疾患の初期対応を理解できる。
2. 症候に応じた救急処置を要する疾患を述べることができる。
3. 鑑別に必要な検査を選択することができる。
4. 検査所見を評価することができる。
5. 適切な救急処置の選択をしてその概略を説明できる。
6. バイタルサインの意味を理解し、チェックを実行できる。
7. 救急蘇生の概念を説明できる。
8. 外傷患者に対する蘇生を説明できる。
9. 外傷の出血の把握と止血操作を説明できる。
10. 救急患者の輸液、輸血の方法を説明できる。

キーワード：

救急疾患、意識、気道、呼吸、循環、胸痛、呼吸困難、急性腹症、吐血・下血、ショック
バイタルサイン、救急蘇生法、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ、救急薬剤止血操作、外傷蘇生、
酸塩基平衡、出血量、輸血

準備：

予習：キーワードについて調べる。（20分）

外科総2：救急医療の基礎（外傷総論）《総IX-10》、救急患者の診療と処置（外傷）《必10-A, B》

日時：7月12日（金） 3時限

担当者：根本 学（国セ 救急医学科）

内容：

1. 外傷初期診療について理解する。
2. 日本における外傷疫学を説明できる。
3. 外傷の病態生理を説明できる。
4. 外傷初期対応を説明できる。
5. 外傷の重症度・緊急度判断ができる。
6. 外傷によるショックの病態を説明できる。
7. 外傷患者の評価をすることができる。
8. 外傷治療のABCDEを述べ、その意味を説明できる。
9. 外傷患者の病態に応じた初期治療を選択することができる。
10. 外傷患者に必要な画像診断を選択し、その評価ができる。

キーワード：

受傷機転、生体防御反応、気道閉塞、換気障害、ARDS、出血量と循環動態、体液変動、外傷スコア、ショック、Primary survey、外傷のABCDE、気道確保、頸椎保護、止血法、中枢神経障害、Secondary survey

教科書：

◆ 標準救急医学 第4版 監修：日本救急医学会、医学書院

参考書：

◆ 救急研修標準テキスト、監修：日本救急医学会、医学書院

準備：

予習：キーワードについて調べる。（20分）

外科総3：麻酔管理

日時：8月30日（金） 4時限

担当者：土井 克史(麻酔科)

内容：

1. 全身麻酔に用いる主要な薬物についての知識を整理する
2. 気管挿管の手技・体位を理解する
3. カプノグラム（呼気終末二酸化炭素分圧モニター）を理解する
4. 気管挿管以外の気道管理について理解する

キーワード：

プロポフォール, セボフルラン, デスフルラン, 筋弛緩薬, ロクロニウム, スガマデクス, 喉頭鏡, sniffing position, 呼気終末二酸化炭素分圧, カプノグラム, 声門上器具, 頭部後屈—あご先挙上

参考書：

- ◆ 配布プリント, 各自で購入した麻酔科学教科書, 医師国家試験既出問題の解説書

準備：

全身麻酔に用いる主要な薬物の名称と特徴を確認しておく
気管挿管の手技・体位を確認しておく
(30分)

外科総4：周術期管理

日時：8月30日（金） 5時限

担当者：土井 克史(麻酔科)

内容：

1. 全身管理の概念を理解する
2. 周術期の循環・呼吸管理を理解する
3. 周術期の輸液を理解する

キーワード：

全身管理, 循環管理, 心血管作働薬, カテコラミン, 呼吸管理, 人工呼吸, 陽圧換気, 輸液, 膠質浸透圧, 酸塩基平衡, 自由水

参考書：

- ◆ 配布プリント, 各自で購入した麻酔科学教科書, 医師国家試験既出問題の解説書

準備：

周術期の循環・呼吸管理について知識を整理する
輸液の基礎を復習する (30分)

外科総5：心肺蘇生術

日時：9月3日（火） 1時限

担当者：小山 薫(総セ 麻酔科)

内容：

1. 1次救命処置（成人を中心に）の手順を説明できる
2. AED（自動体外式除細動器）の使用方法を説明できる
3. 2次救命処置（心室細動を中心に）の手順を説明できる

キーワード：

1次救命処置、2次救命処置、自動体外式除細動器、心室細動、アメリカ心臓協会ガイドライン 2020
(BLS、ACLS、AED、VF、AHA guideline 2020)

参考書：

1. プリント配布、BLS プロバイダーマニュアル日本語版、ACLS プロバイダーマニュアル日本語版、2020 アメリカ心臓協会 CPR および ECC のガイドライン（web からダウンロード可）

準備：

復習：4年生講義配布資料（30分） 予習：2020アメリカ心臓協会 CPR と ECC のガイドライン（30分）

外科総6：ドレナージ、術後処置《必12》

日時：9月5日（木） 1時限

担当者：岡本 光順(国セ 消化器外科)

内容：

1. ドレナージ（胸腔ドレーン、腹腔ドレーン、術後ドレーン）（ドレーンの意義と方法について理解する）
2. 術後処置（消毒、外科感染症、中心静脈穿刺の意義と方法について理解する）
3. その他（国家試験外科総論必須問題）

ポイント：

1. ドレーンの意義と方法、合併症について理解する。
2. 周術期感染症対策についての理解を深める。
3. 中心静脈穿刺の方法と合併症について理解する。

キーワード：

ドレナージ、SSI、中心静脈穿刺

準備：

国試過去問で外科総論問題を確認しておいてください。（30分）

外科総7：胸部外傷、縦隔気腫、気胸

日時：9月6日（金） 1時限

担当者：石田 博徳(国セ 呼吸器外科)

内容：

1. 胸部外傷
 - 1) 肋骨骨折
 - 2) 胸壁動揺
 - (1) 奇異呼吸
 - (2) 振子様空気
 - (3) 縦隔動揺
 - (4) 内固定・外固定
 - 3) 外傷性気胸
 - 4) 縦隔気腫
 - 5) 気管・気管支損傷
 - 6) 皮下気腫
 - 7) 血胸
2. 緊張性気胸

キーワード：

胸壁動揺、奇異呼吸、振子空気、縦隔動揺、内固定、外固定、緊張性気胸、縦隔気腫、血胸

準備：

予習：キーワードについて調べる。（30分）

外科総8：腹部外傷

日時：9月12日（木） 1時限

担当者：浅野 博(消化器・一般外科)

内容：

1. 受傷機転と臓器損傷について説明できる
2. 損傷臓器の分類をあげられる
3. 外傷の治療法について説明できる

キーワード：

鈍的外傷、鋭的外傷、ダメージコントロールサージェリー

教科書：

◆ 標準外科学

準備：

腹腔内臓器の解剖について（腹腔内臓器、後腹膜臓器）（30 分）

外科総 9：ショックと多臓器不全：病態生理と治療《総 V-3, 7》

日時：9 月 12 日（木） 2 時限

担当者：浅野 博(消化器・一般外科)

内容：

1. ショックの原因とその病態の違いについて
 - 1) 定義について説明できる
 - 2) 原因別の病態の違いを説明できる
 - 3) ショックの治療を説明できる
2. 多臓器不全の原因と機序について
 - 1) 障害を受ける臓器を挙げられる
 - 2) 臓器不全の病態を説明できる

キーワード：

循環血液量減少性ショック、心原性ショック、心外閉塞拘束性ショック、血液量分布不均衡性ショック、SIRS、サイトカイン、DIC

準備：

生体の血液循環について（血圧、中心静脈圧、末梢循環）

体内水分の分布

血液凝固のしくみについて（30 分）

外科総 10：熱傷

日時：9 月 12 日（木） 3 時限

担当者：田口 理史(皮膚科)

内容：

【★E-5-3)-(3)】物理化学的皮膚障害について理解し、臨床実地的な問題を解決する能力を身につける。

1. 病態
2. 原因（高温、低温、化学など）、頻度
3. 診断、創の評価
4. 二次感染予防
5. 治療（局所療法、全身管理など）
後遺症

キーワード：

熱傷、深度、Curling 潰瘍、ショック、9 の法則、輸液、デブリドマン、植皮、瘢痕、癌化

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）

参考書：

◆ 標準皮膚科学（医学書院）など

準備：

【予習】あたらしい皮膚科学 第3版 13章（P219～236）の該当する箇所をよく読んでおくこと。40分程度の予習時間を要するものと思われる。【復習】予習で確認していなかった内容を中心に、講義資料および教科書で復習すること。20分程度の時間を要するものと思われる。